

令和6年度 第2回 静岡市上下水道事業経営協議会 次第

日時：令和6年8月30日（金）

午後1時30分から午後4時30分まで

場所：上下水道局庁舎 7階 71会議室

1 開会

2 報告事項

- (1) 清水地区のPFASへの対応状況について

3 議題等

- (1) 【事務事業の進捗管理】

事務事業の内部評価に対する意見聴取

- (2) 【事務事業の進捗管理】

横断的取組の報告・意見聴取

- (3) 【予算及び決算の概要】

令和5年度 決算見込みについて

- (4) 【料金改定】

水道料金改定に向けた検討状況について

4 閉会

令和6年度 第2回 静岡市上下水道事業経営協議会 席次表

モニター

令和6年8月30日(金)
午後1時30分から午後4時30分まで
静岡市上下水道局庁舎
7階 71会議室

鈴木 学 会長

- 馬居 喜代子 委員 ○
- 狩野 佐知子 委員 ○
- 塩野 敏晴 委員 ○
- 竹内 佑騎 委員 ○
- 橋本 正子 委員 ○
- 濱田 晴子 委員 ○

- 原田 正男 委員 ○
- 堀住 京子 委員 ○
- 安井 哲也 委員 ○
- 山本 公敏 委員 ○
- 横澤 由美 委員 ○
- 横山 則子 委員 ○

入口

(上下水道局職員)

○ 事務局

○ 事務局

○ 下水道部長

○ 局次長兼経営管理部長

○ 公営企業管理者

○ 上下水道局長

○ 水道部長

○ 水道計画課長

○ 事務局

○ 事務局

○ 下水道計画課長

○ 下水道建設課長

○ 上下水道経営企画課長

○ 上下水道総務課長

○ 水道施設課長

○ 水道建設・維持課長

○ 事務局

○ 事務局

○ 下水道維持課長

○ 下水道施設課長

○ 上下水道経理課長

○ お客様サービス課長

○ 水道事務所長

○ 水質管理課長

事務局

○

○

○ 下水道事務所長

○ 葵・駿河浄化センター担当課長

○ 清水浄化センター担当課長

○ 清水水道施設担当課長

○ 水道維持担当課長

○ 葵北水道施設担当課長

事務局

○

○

傍聴

○

○

傍聴

○

○

傍聴

○

○

事務局

○

○

報道

○

○

報道

○

○

傍聴

○

○

第5次中期経営計画 事務事業評価一覧

資料 1

政策	施策	No	事務事業	活動指標				≪参考≫成果指標					所管		説明対象			
				実施内容	R5目標値	R5実績値	活動指標達成率	評価	指標名	R5目標値	R5実績値	成果指標達成率	事業区分	R6担当課	R6事務事業評価責任課	測定理由	顧客協議会説明対象	
1 高齢者を 支援する。	(1)難水地域・難水 地域対策	1	① 水道管の被災対策	草幹管路の耐震化工事	1.9km	1.2km	63.2%	C	草幹管路の利根管率	41.8%	41.8%	100.0%	【水道】	水道建設・維持課	水道建設・維持課	①戦略的に重要なもの ②自己評価が「C」のもの	○	
		2	② 水道施設の被災対策	配水池の耐震化工事 清水台浄水場の施設耐震化工事	1箇所完了	1箇所完了	100.0%	a	配水池の耐震化率 清水台浄水場の施設耐震化率	52.3% 12.0%	52.3% 12.0%	100.0% 100.0%	【水道】	水道施設課	水道施設課	①戦略的に重要なもの	○	
		3	③ 下水道管の地震対策	特に重要な下水道管の耐震化工事	3.7km	5.4km	145.9%	S	特に重要な下水道管の工事に係る耐震率	70.2%	70.7%	100.0%	【下水道】	下水道建設課	下水道建設課	①戦略的に重要なもの	○	
		4	④ 下水道管・施設の建設対策	(既水管見口) グート設置工事	1箇所	1箇所	100.0%	a	グート設置率	3.2%	3.2%	100.0%	【下水道】	下水道事務所	下水道建設課	-	-	
	(2)漏水対策	5	① 雨水管・ポンプ場などの整備	完了地区数(累計) 対策完了地区数(完了地区除く)	1地区(17地区)	1地区(17地区)	100.0%	a	漏水対策率 (対策完了地区数)	65.3% (17地区)	65.3% (17地区)	100.0%	【下水道】	下水道建設課 下水道計画課 下水道事務所	下水道建設課	①戦略的に重要なもの	○	
		6	② 内水ハザードマップの周知	市政出前講座などの開催数	15回	23回	153.3%	S	市政出前講座等出席者の理解度	85%以上	92.80%	109.2%	【下水道】	下水道計画課	下水道計画課	-	-	
	(3)災害時などの対応 や体制の確立	7	① 事業継続に必要な体制の充実・定着	目的別訓練の実施回数(本部機関・連携等) 災害・事業等の情報共有の強化(市長官邸との連携)	14回	14回	100.0%	a	災害対策訓練への参加員、関係団体職員等の参加者数	延べ790人	延べ533人	67.5%	【共通】	上下水道経営企画課	上下水道経営企画課	-	-	
		8	② 給水拠点等の整備・充実	給水拠点の施設整備数	2箇所	1箇所	50.0%	C	給水拠点の整備箇所数 貯留水で一箇所に必要となる水を供給できる人数	3箇所 213,700人	2箇所 211,300人	66.6% 99.0%	【水道】	水道建設・維持課	水道建設・維持課	①戦略的に重要なもの ②自己評価が「C」のもの	○	
	2 環境にやさ しい水を 供給する。	(1)管・施設の老朽化 対策	9	① 水道管の更新	水道管の更新工事	25.2km	28.0km	111.1%	S	管線の更新率(年間)	1.0%	1.1%	110.0%	【水道】	水道建設・維持課	水道建設・維持課	①戦略的に重要なもの	○
			10	② 水道施設の更新	機械・電気設備の更新工事	74設備	74設備	100.0%	a	設備の老朽化に起因する、水源の給水停止日数	0日	0日	100.0%	【水道】	水道施設課	水道施設課	①戦略的に重要なもの	○
11			③ 下水道管の改善	下水道管の改善工事	6.8km	8.8km	129.4%	S	管径より100m当たりの陥没箇所数	0.4箇所以下/100km	0.44箇所/100km	90.9%	【下水道】	下水道維持課 下水道事務所	下水道維持課	①戦略的に重要なもの	○	
12			④ 下水道施設の改善	設備の改善工事	5設備	5設備	100.0%	a	設備の老朽化に起因する、下水道の使用制限日数	0日	0日	100.0%	【下水道】	下水道施設課	下水道施設課	①戦略的に重要なもの	○	
(2)管・施設の効率化 を図る。		13	① 水道施設の統合	施設の統合	1施設廃止	-	0.0%	C	維持管理経費効果率	約2,020万円/年	約2,020万円/年	100.0%	【水道】	水道施設課	水道施設課	②自己評価が「C」のもの	○	
		14	② 給水ブロックの再編	給水ブロック再編	0箇所	1箇所	200.0%	S	給水ブロック再編が完了した場合	0%	7%	200.0%	【水道】	水道建設・維持課	水道建設・維持課	-	-	
(3)安全でおいしい水 の安定的な供給		15	③ 水道管・施設の漏水対策	管調査延長	2,477km	2,477km	100.0%	a	管調査機率	91.9%	91.9%	100.0%	【水道】	水道建設・維持課 水道事務所	水道建設・維持課	①戦略的に重要なもの	○	
				施設調査数	3施設	3施設	100.0%	主要施設漏水点検率 有効率	13.0% -	13.0% 81.2%	100.0% -							
		16	④ 下水道施設の統合	処理区切替工事	詳細設計(実施中)	詳細設計	-	C	処理区切替工事準備による維持管理経費効果率	0%	0%	100.0%	【下水道】	下水道施設課 下水道事務所	下水道施設課	②自己評価が「C」のもの	○	
				17	① 水質の管理・監視	水質検査担当者の育成(認定を取得した人数) 水質監視装置の更新	延べ20人 4台	延べ25人 4台	125.0% 100.0%	a	平均残留塩素濃度 (0.4mg/L以下を維持) 水質検査回数 (水質基準項目)	0.3mg/L 100%	0.3mg/L 100%	100.0% 100.0%	【水道】	水質管理課	水質管理課	-
18	② 給水給水管の更新	給水給水管の更新	3,800箇所	3,082箇所	100.0%	a	給水給水管率	6.0%	6.0%	100.0%	【水道】	水道建設・維持課 水道事務所	水道建設・維持課	-	-			
3 環境への負 荷を減らす。	(1)水環境の保護・改 善	19	① 下水道計画区域内の整備	下水道整備計画区	20ha	20ha	100.0%	a	下水道処理人口普及率	88.2%	88.3%	100.0%	【下水道】	下水道計画課 下水道建設課 下水道事務所	下水道建設課	-	-	
		20	② 水酸化戸数の増加(下水道接続推進活動)	既戸時間の削減	延べ40,000戸	延べ41,437戸	103.6%	a	水酸化率(戸数)	91.40%	91.80%	100.4%	【下水道】	下水道計画課	下水道計画課	-	-	
4 顧客への サービス 向上を図る。	(1)顧客・窓口サービス などの充実 向上を図る。	21	① 料金等徴収のキャッシュレス決済推進	水道料金及び下水道使用料の決済に係る利便性の向上	-	-	-	a	キャッシュレス決済率 (収納件数の構成比)	75.76%	76.46%	100.0%	【共通】	お客様サービス課	お客様サービス課	-	-	
		(1)職員等の研修・教育	22	① 人材育成の推進	内部研修への参加(延べ人数)	1,500人	2,530人	168.7%	b	内部研修時間	10.1時間/人	19.6時間/人	194.1%	【共通】	上下水道総務課	上下水道総務課	-	-
外部研修への派遣(延べ人数)	135人				102人	75.6%	外部研修時間	8.5時間/人		4.0時間/人	47.1%							
5 協働による 課題を解決 する。	(2)財政の健全化	23	① 企業債残高の適正な管理	水道事業) 企業債借入額	55億円	54億円	101.9%	a	年度末における企業債残高(水道事業)	469億円	447億円 (20億円はR6へ繰越)	100.4%	【共通】	上下水道総務課	上下水道総務課	-	-	
				(水道事業) 元金償還額	23億円	23億円	100.0%		年度末における企業債残高(下水道事業)	1,412億円	1,353億円 (36億円がR6へ繰越)	101.7%						
		24	② 収納率の向上	水道料金・下水道使用料の口座振替回数	7,700件	7,887件	102.4%	a	水道料金収納率	98.25%	98.33%	100.0%	【共通】	お客様サービス課	お客様サービス課	①戦略的に重要なもの	○	
				水道料金・下水道使用料の滞り金に対する強制徴収	実施	実施	100.0%		下水道使用料収納率	98.21%	98.24%	100.0%						
受益者負担金一括納付の勧奨	3回	3回	100.0%	受益者負担金収納率(現在)	94.74%	98.13%	103.5%											
受益者負担金の受益者に対する個別徴収	実施	実施	100.0%	受益者負担金収納率(過去)	14.63%	15.01%	102.6%											

事務事業の評価基準

評価区分	数値目標から見た	数値目標がないもの
S	目標値を上回る(105%以上)	-目標を上回る実績である。
B	目標値にほぼ到達する(90%以上105%未満)	-目標にほぼ到達する実績である。
b	目標値を下回る(70%以上90%未満)	-目標をやや下回る実績である。
C	目標値を大きく下回る(70%未満)	-目標を大きく下回る実績である。
-	実施せず	-数値目標が定められていない、実績が確認できなかった。

説明対象測定理由
 ①戦略的に重要なもの(11)
 ②自己評価が「C」のもの(随時)

●：全ての事務事業に共通する項目、★：事務事業により記載の有無がある項目

① 事務事業名～活動目標

政策1 施策(1)	① 水道管の減災対策【水道】	計画掲載ページ (P17～18)
活動目標	「静岡市水道施設中長期更新計画」に基づき、基幹管路322.7kmのうち、令和4年度末までに管延長133.8kmの耐震化が完了していますが、令和8年度末までに新たに4.4km実施し、138.2kmの耐震化を完了します。また、耐震化事業に併せて、その他自然災害に対する減災対策も実施します。	

【記載内容のポイント】

- 「政策名」、「施策名」、「事務事業名」を記載
- 事務事業の活動目標を記載

② 活動指標

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
基幹管路の耐震化工事	目標値		4.4km	1.9km	0.4km	0.8km	1.3km	
	実績値	7.8km		1.2km				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			356,591			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			93,641			
		決算(千円) ※見込み			116,840			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)				333,391				

【記載内容のポイント】

- R5～R8年度の活動指標（アウトプット）の目標値を記載
- R5年度における活動指標（アウトプット）の『実績値』と、事業費の『予算』、『繰越（過年度→当該年度）』、『決算』見込み及び『繰越（当該年度→翌年度）』見込みの金額（千円）を記載。

事務事業の評価基準

評価区分	数値目標があるもの	数値目標がないもの
S	目標を上回る (105%以上)	・目標を上回る進捗である。
a	目標どおり (90%以上105%未満)	・目標どおりの進捗である。
b	目標を下回る (70%以上90%未満)	・目標をやや下回る進捗である。
C	目標を顕著に下回る (70%未満)	・目標を顕著に下回る進捗である。
—	実施せず	・実施する必要がなくなった。 ・政策変更等により、実施が不可能となった。

③ 自己評価

自己評価	説明
C	水道管の減災対策について、(活動指標)基幹管路の耐震化工事を、令和5年度計画「1.9km」に対し、「1.2km」を実施した。【活動指標達成状況:63%】 具体的な取組として、日本平公園整備事業に伴う送水管布設工事外4件を実施し、1件が完成した。この結果、(成果指標)基幹管路の耐震化率は、令和5年度計画「41.8%」に対し実績「41.8%」となった。【成果指標達成状況:100%】 基幹管路の耐震化工事を進めることにより、「継手の離脱防止」、「水道管の破断防止」など耐震性が向上し、巨大地震時の管の破損による断水被害を減らし、市民生活への影響を抑える。

(自己評価が「a」以外となった理由等)

令和5年度発注工事について、以下の理由により年度内完成が困難となった。
 ・試掘した結果、既設管の位置が想定と異なったことから新旧接続部の設計が変更となり、それに伴う道路管理者(国)との道路占用の再協議が必要となったため、工事の着手が遅れた
 ・同一工事の発注で複数回(3回)入札不調となり、着手時期に大幅な遅れが生じたため

(自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針)

・特に占用物件が輻輳する路線については事前に試掘するなど、設計精度の向上を図る。

【記載内容のポイント】

● 自己評価の説明を記載（事務事業の評価基準（左記／資料3 P1）により評価）

(1)数値目標があるもの

達成率を[R5実績値/R5目標値]で算出し、「数値目標があるもの」に当てはめて評価する。

(2)数値目標がないもの

「目標値」に対し、「実績値」の進捗を踏まえて、「数値目標がないもの」に当てはめて評価する。

※活動指標が複数ある場合は、低い方に合わせて評価区分を決定

※現年の活動指標の結果が事業の目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかにより評価する。

★（自己評価が「a」以外となった理由）

→事務事業の自己評価が「a」以外の評価となった理由について記載

★（自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針）

→事務事業の自己評価が「a」未満の評価となったものについて、事務事業の改善に向けた取組方針を記載

④ 成果指標

《参考》

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基幹管路の耐震化率	目標値		41.8%	41.9%	42.3%	42.5%
	実績値	41.5%	41.8%			

R5成果指標算出式

$$\{133.8\text{km} + (\text{R5新設}0.5\text{km}) + (\text{R5耐震化}1.2\text{km})\} / \{322.7\text{km} + (\text{R5新設}0.5\text{km}) + (\text{R5耐震化}1.2\text{km}) - (\text{R5除却}0.4\text{km})\} = 41.8\%$$

【記載内容のポイント】

- R5～R8年度の成果指標（アウトカム）の目標値と、R5年度における成果指標（アウトカム）の『実績値』を記載
- 成果指標の下にR5実績の算出式を記載

しずおか水ビジョン

第5次静岡市上下水道事業中期経営計画

令和5年度～令和8年度

事務事業評価（進行管理）シート



令和6年8月30日
静岡市上下水道局

事務事業の評価基準

第5次中期経営計画に掲げる事務事業について、設定した**活動指標**の目標値と実績値を比較した達成度から、アルファベット小文字の「s」から「c」までの4段階で評価しています。政策変更等で実施しなかった事業は「-」を記入しています。

評価の区分は、下表のとおりです。

評価区分	数値目標があるもの	数値目標がないもの
S	目標を上回る (105%以上)	・ 目標を上回る進捗である。
a	目標どおり (90%以上105%未満)	・ 目標どおりの進捗である。
b	目標を下回る (70%以上90%未満)	・ 目標をやや下回る進捗である。
c	目標を顕著に下回る (70%未満)	・ 目標を顕著に下回る進捗である。
-	実施せず	・ 実施する必要が無くなった。 ・ 政策変更等により、実施が不可能となった。

政策1 施策(1)	① 水道管の減災対策【水道】	計画掲載ページ [P17~18]
--------------	----------------	---------------------

活動目標 「静岡市水道施設中長期更新計画」に基づき、基幹管路322.7kmのうち、令和4年度末までに管延長133.8kmの耐震化が完了していますが、令和8年度末までに新たに4.4km実施し、138.2kmの耐震化を完了します。また、耐震化事業に併せて、その他自然災害に対する減災対策も実施します。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
基幹管路 の耐震化工事	目標値		4.4km	1.9km	0.4km	0.8km	1.3km	
	実績値	7.8km		1.2km				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		356,591				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		93,641				
		決算(千円) ※見込み		116,840				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		333,391						

自己評価	説明
C	<p>水道管の減災対策について、(活動指標)基幹管路の耐震化工事を、令和5年度計画「1.9km」に対し、「1.2km」を実施した。【活動指標達成状況:63%】</p> <p>具体的な取組として、日本平公園整備事業に伴う送水管布設替工事外4件を実施し、1件が完成した。この結果、(成果指標)基幹管路の耐震管率は、令和5年度計画「41.8%」に対し実績「41.8%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>基幹管路の耐震化工事を進めることにより、「継手の離脱防止」、「水道管の破断防止」など耐震性が向上し、巨大地震時の管の破損による断水被害を減らし、市民生活への影響を抑える。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

令和5年度発注工事について、以下の理由により年度内完成が困難となった。

- ・試掘した結果、既設管の位置が想定と異なったことから新旧接続部の設計が変更となり、それに伴う道路管理者(国)との道路占用の再協議が必要となったため、工事の着手が遅れた
- ・同一工事の発注で複数回(3回)入札不調となり、着手時期に大幅な遅れが生じたため

(自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針)

- ・特に占有物件が輻輳する路線については事前に試掘するなど、設計精度の向上を図る。
- ・業者の受注状況を把握し、発注時期の調整を図る。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
基幹管路の 耐震管率	目標値		41.8%	41.9%	42.3%	42.5%
	実績値	41.5%	41.8%			

R5成果指標算出式	$\{133.8\text{km} + (\text{R5新設}0.5\text{km}) + (\text{R5耐震化}1.2\text{km})\} / \{322.7\text{km} + (\text{R5新設}0.5\text{km}) + (\text{R5耐震化}1.2\text{km}) - (\text{R5除却}0.4\text{km})\} = 41.8\%$
-----------	--

政策1 施策(1)	② 水道施設の減災対策【水道】	計画掲載ページ 〔P19～20〕
--------------	-----------------	---------------------

活動目標 「静岡市水道施設中長期更新計画」に基づき、配水池98箇所のうち、令和4年度末までに53箇所の耐震化が完了しているが、令和8年度末までに新たに3箇所実施し、56箇所の耐震化を完了する。また、清水谷津浄水場の施設25箇所のうち、令和4年度末までに3箇所の耐震化が完了しているが、令和8年度末までに新たに2箇所実施し、5箇所の耐震化を完了する。耐震化事業に併せて、その他自然災害に対する減災対策も実施する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
配水池の耐震化工事	目標値		3箇所完了	1箇所完了	1箇所完了	－	1箇所完了	
	実績値	3箇所完了		1箇所完了				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		292,928				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		75,119				
		決算(千円) ※見込み		329,348				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		31,232						
清水谷津浄水場の施設耐震化工事	目標値		2箇所完了	－	1箇所完了	－	1箇所完了	
	実績値	2箇所完了		－				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		167,000				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		168,245				
		決算(千円) ※見込み		317,466				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		0						

自己評価	説明
a	<p>水道施設の減災対策について、(活動指標)配水池の耐震化工事を、令和5年度計画「1箇所完了」に対し、「1箇所完了」を実施した。【活動指標達成状況:100%】</p> <p>具体的な取組として、庵原配水池の貯水量の調整を実施し、この結果、(成果指標)配水池の耐震化率は、令和5年度計画「52.3%」に対し実績「52.3%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>また、令和6年度に完了予定である日本平山頂配水池の更新と清水谷津浄水場集水井の更新の完了に向けて、工事を実施している。</p> <p>配水池や浄水施設の耐震化工事や減災対策を進めることにより、自然災害時の「配水池や浄水施設の信頼性・安全性」が高まる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
配水池の耐震化率	目標値		52.3%	52.4%	52.4%	53.1%
	実績値	44.8%	52.3%			
清水谷津浄水場の施設耐震化率	目標値		12.0%	16.0%	16.0%	20.0%
	実績値	12.0%	12.0%			

R5成果指標算出式	$99881 / 190977 = 52.30\%$
-----------	----------------------------

政策1 施策(1)	③ 下水道管の地震対策【下水道】	計画登載ページ 〔P21～22〕
--------------	------------------	---------------------

活動目標

「静岡市下水道総合地震対策計画」に基づき、特に重要な下水道管に位置づけた363.7kmのうち、令和4年度末までに耐震性能の確認と各種対策により、251.6kmの耐震化が完了しているが、令和8年度末までに新たに14.5kmの耐震化工事を実施し、266.1kmの耐震化を完了する。
 ※特に重要な下水道管とは…《重要な下水道管》*547.7kmのうち、緊急輸送路に埋設された管や災害拠点病院などの排水を受け持つ管を《特に重要な下水道管》とした。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
特に重要な 下水道管の 耐震化工事	目標値		14.5km	3.7km	3.6km	3.6km	3.6km	
	実績値	12.5km		5.4km				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			1,022,640			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			909,141			
		決算(千円) ※見込み			916,579			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			982,578					

自己評価	説明
S	<p>下水道管の地震対策について、(活動指標)特に重要な下水道管の耐震化工事を令和5年度計画「3.7km」に対し「5.4km」実施した。【活動指標達成状況:145.9%】</p> <p>具体的な取組として、下水道管の耐震診断、耐震化設計及び工事を実施し、この結果、(成果指標)特に重要な下水道管の工事に係る耐震管率は令和5年度計画「70.2%」に対し実績「70.7%」となった。【成果指標達成状況:100.7%】</p> <p>下水道管の地震対策を進めることにより、緊急車両の応急対策活動のための交通機能や災害拠点病院のトイレ機能の確保につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

地震対策については国の交付金を財源に実施しているが、近年当初予算で十分な配当が受けられず、補正予算で対応しているため、工事が繰越となり、成果は次年度に発揮される。
 令和4年度の国費補正予算において、一部前倒しも含めた予算確保ができたため、目標より多くの延長を実施し、完了することができた。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
特に重要な 下水道管の 工事に係る 耐震管率	目標値		70.2%	71.2%	72.2%	73.2%
	実績値	69.2%	70.7%			

R5成果指標算出式	<p>特に重要な下水道管の工事に係る耐震管率 (特に重要な下水道管のうち令和4年度までに耐震化した下水道管延長[251.6km]+令和5年度以降に耐震化工事をした下水道管延長)÷特に重要な下水道管延長[363.7km]×100(%) =[{R4末実績(251.6km)+R5実績(5.4km)}÷363.7km]×100=70.7%</p>
-----------	--

政策1 施策(1)	④ 下水道管・施設の津波対策【下水道】	計画登載ページ 〔P23～24〕
--------------	---------------------	---------------------

活動目標 「静岡市下水道総合地震対策計画」及び「静岡市下水道施設津波対策計画」に基づき、津波対策が必要な既設の雨水管吐口全31箇所及び浄化センター・ポンプ場全16施設のうち、令和8年度末までに新たに3箇所のゲート設置を完了する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
(雨水管吐口) ゲート設置工 事	目標値	/	3箇所	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所	
	実績値	0箇所		1箇所				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		0				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		31,000				
		決算(千円) ※見込み		29,546				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		0						

自己評価	説 明
a	<p>下水道管・施設の津波対策について、(活動指標)ゲート設置工事(雨水管吐口)を令和4年度工事で実施し、令和5年度に繰越して整備が完了した。これにより令和5年度計画「1箇所」に対し「1箇所」の実施となった。【活動指標達成状況:100%】</p> <p>具体的な取組みとして、清水区横砂地区の二級河川庵原川に流れる雨水管吐口にフラップゲートを1箇所設置し、この結果、(成果指標)ゲート設置率は、令和5年度計画「3.2%」に対し実績「3.2%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>下水道管・施設の津波対策を進めることにより、津波の管路内遡上による上流域の浸水や、土砂等の流入による管路内閉塞の流下機能低下を防ぎ、市民の生命・財産を守ることにつながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
ゲート設置率	目標値		3.2%	3.2%	6.5%	9.6%
	実績値	0.0%	3.2%			

R5成果指標算出式	ゲート設置率 (ゲート設置完了箇所数/耐津波化が必要な箇所数[31箇所])×100(%) =(1箇所/31箇所)×100=3.2%
-----------	---

政策1 施策(2)	① 雨水管・ポンプ場などの整備 【下水道】	計画掲載ページ [P25~26]
--------------	-----------------------	---------------------

活動目標 「静岡市浸水対策推進プラン」に位置づけた浸水対策地区(市内全41地区)において、下水道部が所管する26地区のうち、令和4年度までに完了した地区が16地区となった。これを令和8年度末までに新たに2地区を整備し、18地区の浸水対策を完了する。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
完了地区数 (累積)	目標値		2地区 (18地区)	1地区 (17地区)	0地区 (17地区)	1地区 (18地区)	0地区 (18地区)	
	実績値	5地区 (16地区)		1地区 (17地区)				
対策実施地区 数(完了地区 除く)	目標値		8地区	2地区	5地区	7地区	8地区	
	実績値	4地区		2地区				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			2,252,459			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			1,804,475			
		決算(千円) ※見込み			1,956,205			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			1,642,344					

自己評価	説明
a	<p>雨水管・ポンプ場などの整備について、(活動指標)完了地区数は令和5年度計画「1地区」に対し「1地区」となり、対策実施地区数は令和5年度計画「2地区」に対し「2地区」となった。【活動指標達成状況:100%】</p> <p>具体的な取組として、「城北二丁目地区」の1地区の整備が完了し、「川岸町・渋川地区」及び「追分二丁目地区」の2地区の整備を実施している。この結果、(成果指標)浸水対策率は令和5年度計画「65.3%」に対し実績「65.3%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>雨水管・ポンプ場などの整備を進めることにより、速やかに雨水が排除され、浸水被害の軽減につながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
浸水対策率 (対策完了地区数)	目標値		65.3% (17地区)	65.3% (17地区)	69.2% (18地区)	69.2% (18地区)
	実績値	61.5% (16地区)	65.3% (17地区)			

R5成果指標算出式	浸水対策率 (浸水対策が完了した地区数/浸水対策が必要な地区数[26地区])×100(%) =[{R4末実績(16地区)+R5実績(1地区)}/26地区]×100=65.3%
-----------	---

政策1	② 内水ハザードマップの周知 【下水道】	計画掲載ページ 【P27～28】
施策(2)		

活動目標 「静岡市浸水対策推進プラン」のソフト対策に位置づけた内水ハザードマップの活用方法などをより多くの市民の皆さんに広げ、理解してもらうため、令和8年度末までに市政出前講座などを60回実施する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
市政出前講座 などの開催数	目標値		60回	15回	15回	15回	15回	
	実績値	22回		23回				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			0			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			0			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			0					

自己評価	説明
S	<p>内水ハザードマップの周知について、市政出前講座を令和5年度計画「15回」に対し、「23回」実施した。【活動指標達成状況:153%】</p> <p>具体的な取組として、生涯学習施設との共催による主体的な開催に加え、それ以外の要請にも応え講座を実施し、この結果、市政出前講座等出席者の理解度は、令和5年度計画85%以上に対し、92.8%となった。【成果指標達成状況:109%】</p> <p>内水ハザードマップの周知を進めることにより、市民の皆さんの自助・共助の意識の向上につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

浸水対象地区の生涯学習交流館全30か所に対し、各2回ずつ合計60回を4年間かけて主体的に実施(15回/年)することを目標に設定したが、これ以外にも要望のあった地域・中学校・高校に対し、実施した結果、目標15回/年に対し、23回/年となり、s評価となった。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
市政出前講座等出席者の理解度	目標値		85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
	実績値	80%以上	92.8%			
R5成果指標算出式		619人(出席者のうち、理解ができた市民)/667人(出席者)×100(%)				

政策1 施策(3)	① 事業継続に必要な応急体制の充実・定着 【共通】	計画掲載ページ [P29~30]
--------------	----------------------------------	---------------------

活動目標 震災や大規模風水害などの災害等非常時に迅速・的確な対応ができ事業継続が図られるよう、マニュアル等の整備や職員・関係団体への研修・訓練により、一層の応急対応の定着と災害対策本部機能の強化を図る。また、被害状況や局の対応について、市民の皆さんに必要な情報をより伝わり易くなるよう、多様な方法により発信力を高める。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
目的別訓練の実施回数 (本部機能・連携等)	目標値		56回	14回	14回	14回	14回	
	実績値	40回		14回				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		-				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		-				
		決算(千円) ※見込み		-				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		-						
災害・事故等の 情報発信力強化 (市長部局との連携)	目標値		災害時総合情報 サイト 構築・運用	情報サイトの基本 計画検討・シス テム開発	システム開発 ・導入	さらなる利便性 向上のための調 査・検討	さらなる利便性 向上のための調 査・検討	
	実績値	随時実施		情報サイトの基本 計画検討				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		-				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		-				
		決算(千円) ※見込み		-				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		-						

自己評価	説 明
a	<p>事業継続に必要な応急体制の充実・定着について、(活動指標)目的別訓練の実施を令和5年度計画14回に対し、14回実施した。【活動指標達成状況:100%】また、災害・事故等の情報発信力強化については、(活動指標)情報サイトの基本計画検討・システム開発に対し、情報サイトの基本計画検討となった。【活動指標達成状況:目標どおりの進捗である】</p> <p>具体的な取組として、目的別訓練は100%の達成であり、情報サイトについては、市危機管理課の基本計画検討に必要な情報の間取りに参画し、当該開発予算の確保に繋げることもできたため、両方の実績により活動指標の目標どおりの進捗である。この結果、(成果指標)災害対策訓練への局職員・関係団体職員の参加者数は、令和5年度計画「延べ790人」に対し、「延べ533人」となった。【成果指標達成状況:67.5%】</p> <p>事業継続に必要な応急体制の充実・定着を進めることにより、上下水道局の防災力の強化につながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
災害対策訓練 への局職員・ 関係団体職員 の参加者数	目標値		延べ790人	延べ880人	延べ970人	延べ1,060人
	実績値	延べ700人	延べ533人			

政策1 施策(3)	② 給水拠点等の整備・充実【水道】	計画掲載ページ 〔P31～32〕
--------------	-------------------	---------------------

活動目標 「静岡市水道事業震災時等応急対策計画」に基づき、給水拠点等において多様な手法でより円滑に給水活動を実施できる施設を整備する。これまでの備蓄方式は、一定量の水が確保されていることから、通常的生活へ段階的に復旧するための継続的な給水が可能となる管方式の整備を推進する。管方式は、全部で71箇所の整備を目指しており、令和8年度末までに新たに8箇所を整備し、より効率的な給水活動の実現を目指す。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
給水拠点の施設整備数	目標値		8箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	
	実績値	3箇所 (うち管方式1箇所)		1箇所				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					

自己評価	説明
C	<p>給水拠点の整備・充実について、給水拠点の施設整備数は令和5年度計画「2箇所」に対して「1箇所」を実施した。【活動指標達成状況50%】</p> <p>具体的な取り組みとして、羽鳥地区は当初の予定箇所で、必要な貯留量が確保できないことが確認され、地区内で整備箇所を変更し、給水拠点及び、給水栓の整備を完了した。一方、有度地区は当初は管路が耐震化されている予定であったが、部分的に耐震化がされてなく、必要な貯留量を確保できないことが確認されたため、耐震管への更新後に実施することから、令和5年度は未実施となった。この結果、給水栓の整備箇所数(管方式)は令和5年度計画「3/71箇所」に対し実績「2/71箇所」に【成果指標実施状況67%】、貯留水で一週間に必要となる水を供給できる人数は令和5年度計画「213,700人」に対し実績「211,300人」となった。【成果指標実施状況99%】</p> <p>給水拠点の整備・充実を進めることにより、災害時の多様な手法による円滑な給水活動につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

管路の耐震化されていない区間があり、これを更新するまで給水栓の整備を延期したことで有度地区の給水拠点が整備できなかった。

(自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針)

令和6年度に先に、管路の耐震化工事を実施したうえで、給水拠点を整備していく。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
給水栓の整備箇所数(管方式)	目標値		3/71箇所	5/71箇所	7/71箇所	9/71箇所
	実績値	1/71箇所	2/71箇所			
貯留水で一週間に必要となる水を供給できる人数	目標値		213,700人	222,800人	225,600人	235,100人
	実績値	208,000人	211,300人			

R5成果指標算出式	$70t \times 1,000 \div 21 = 3,300人$ $208,000人 + 3,300 = 211,300人$ ※羽鳥地区1箇所の貯留水量 70t ※1人あたりの1週間で必要な水 3リットル/日×7日=21リットル
-----------	---

政策2 施策(1)	① 水道管の更新【水道】	計画登載ページ [P33~34]
--------------	--------------	---------------------

活動目標	<p>本市には約2,700 kmの水道管がありますが、令和16年までに想定使用年数(平均85年)を超過する管が約240 kmあることから、お客様サービスを安定的に継続していくため、これらの老朽化した水道管を中心に更新していく。</p> <p>このため「静岡市水道施設中長期更新計画」に基づく適性時期に更新を進め令和5年度から8年度までの間に、103.3 kmの水道管を更新する。</p>
------	---

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
水道管の更新工事	目標値		103.3km	25.2km	25.6km	25.2km	27.3km	
	実績値	50.1km		28.0km				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			4,067,229			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			3,244,086			
		決算(千円) ※見込み			4,874,952			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			2,233,169					

自己評価	説明
S	<p>水道管の更新について、水道管の更新工事を令和5年度計画「25.2km」に対し「28.0km」実施した。【活動指標達成状況:111%】</p> <p>具体的な取組として、葵区千代田五丁目外配水管布設替工事外45件を実施し、この結果、管路の更新率(年間)は、令和5年度計画「1.0%」に対し実績「1.1%」となった。【成果指標達成状況:110%】</p> <p>水道管の更新を進めることにより、漏水による事故や、濁水の発生の軽減、管路更新管に耐震管を使用しているため、地震時の被害の軽減につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

達成率が111%(S評価)となったが、主な理由は令和4年度の繰越工事が令和5年度完成となったため。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
管路の更新率(年間)	目標値		1.0%	1.0%	1.0%	1.1%
	実績値	0.7%	1.1%			
R5成果指標算出式		29.2km(更新延長28.0km+耐震化延長1.2km)/2,629km(水道管総延長) ×100=1.11%				

政策2 施策(1)	② 水道施設の更新【水道】	計画登載ページ 【P35～36】
--------------	---------------	---------------------

活動目標 「静岡市水道施設中長期更新計画」に沿って策定した「機械・電気設備更新計画」に基づき、点検・調査によって更新が必要となった老朽化した設備のうち、令和8年度末までに新たに218設備の更新工事を実施する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
機械・電気設備の更新工事	目標値		218設備	74設備	55設備	45設備	44設備	
	実績値	115設備		74設備				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			630,012			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			455,238			
		決算(千円) ※見込み			374,770			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			393,580					

自己評価	説明
a	<p>水道施設の更新について、(活動指標)機械・電気設備の更新工事を、令和5年度計画「74設備」に対し、「74設備」を実施した。【活動指標達成状況:100%】</p> <p>具体的な取組として、柳町取水場外5施設計測設備更新工事ほかを実施し、この結果、(成果指標)設備の老朽化に起因する、水道の給水停止日数は、令和5年度計画「0日」に対し実績「0日」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>設備を計画的に更新していくことで、老朽化による設備の機能不全を抑えることができ、水道の給水の停止を未然に防ぐことにつながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
設備の老朽化に起因する、水道の給水停止日数	目標値		0日	0日	0日	0日
	実績値	0日	0日			
R5成果指標算出式	—					

政策2 施策(1)	③ 下水道管の改築【下水道】	計画掲載ページ 【P37～38】
--------------	----------------	---------------------

活動目標	「静岡市公共下水道再構築基本計画(管路編)」に基づき、下水道管の耐震化工事を進めるとともに、定期的な点検・調査によって改築が必要となった老朽化した下水道管のうち、令和8年度末までに新たに25.4kmの改築工事を実施する。
------	--

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
下水道管の改築工事	目標値		25.4km	6.8km	6.2km	6.2km	6.2km	
	実績値	17.1km		8.8km				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		1,703,800				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		304,745				
		決算(千円) ※見込み		1,592,434				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		300,186						

自己評価	説明
S	<p>下水道管の改築について、(活動指標)下水道管の改築工事を令和5年度計画「6.8km」に対し、「8.8km」実施した。【活動指標達成状況:129.4%】</p> <p>具体的な取組として、老朽化が進んでいる処理区のテレビカメラ及び目視調査、改築設計及び工事を実施し、この結果、(成果指標)管きょ100km当たりの陥没箇所数は令和5年度計画「0.4箇所以下」に対し実績「0.44箇所」となった。【成果指標達成状況: 90.9 %】</p> <p>下水道管の改築を進めることにより、管の老朽化が原因で起こる道路陥没の発生の抑制につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

<p>令和4年度の工事発注に伴い発生した入札差金を活用して令和5年度分の工事を前倒し発注し、令和5年度に完了したものが追加されたため、目標より多くの延長を実施することができた。</p> <p>尚、成果指標の実績値が目標値を若干下回っているが、活動指標は大幅に目標値を達成しているため、自己評価への反映は今後の成果指標の状況により判断していく。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
管きょ100km当たりの陥没箇所数	目標値		0.4箇所以下/100km	0.4箇所以下/100km	0.4箇所以下/100km	0.4箇所以下/100km
	実績値	0.20箇所/100km	0.44箇所/100km			
R5成果指標算出式		(R5道路陥没箇所数)11箇所/(維持管理延長)2,516.7km×100				

政策2 施策(1)	④ 下水道施設の改築【下水道】	計画掲載ページ 〔P39～40〕
--------------	-----------------	---------------------

活動目標 「静岡市公共下水道再構築基本計画(施設編)」に沿って策定した「静岡市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、点検・調査によって改築が必要となった老朽化した設備のうち、令和8年度末までに新たに36設備の改築工事を実施する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
設備の改築工事	目標値		36設備	5設備	11設備	17設備	3設備	
	実績値	39設備		5設備				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			2,230,149			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			508,631			
		決算(千円) ※見込み			1,265,936			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			1,447,158					

自己評価	説明
a	<p>下水道施設の改築について、設備の改築工事を令和5年度計画「5設備」に対し、「5設備」実施した。【活動指標達成状況:100.0%】</p> <p>具体的な取組として、長田浄化センター監視制御設備改築工事や中島雨水ポンプ場流入ゲート設備改築工事などを実施し、この結果、設備の老朽化に起因する下水道の使用制限日数は令和5年度計画「0日」に対し、実績「0日」となった。【成果指標達成状況:100.0%】</p> <p>設備を計画的に改築することにより、老朽化による機能不全を抑えることができ、下水道の使用制限を未然に防ぐことにつながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
設備の老朽化 に起因する、 下水道の使用 制限日数	目標値		0日	0日	0日	0日
	実績値	0日	0日			

R5成果指標算出式	$(\text{年間日数} - \text{設備の老朽化が起因する下水道使用制限日数}) / \text{年間日数} [(365\text{日} - 0\text{日}) / 365\text{日} = 100\%]$
-----------	---

政策2 施策(2)	① 水道施設の統廃合【水道】	計画掲載ページ 〔P41～42〕
--------------	----------------	---------------------

活動目標 「静岡市水運用計画」に基づき、統廃合が可能な水道施設のうち、令和8年度末までに1施設を廃止する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
施設の統廃合	目標値		1施設廃止	1施設廃止	—	—	—
	実績値	3施設廃止		—			
	事業費	予算(千円) (現計予算)		—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		—			
		決算(千円) ※見込み		—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		—					

自己評価	説明
C	<p>水道施設の統廃合について、(活動指標)施設の統廃合を、令和5年度計画「1施設廃止」に対し、実施できなかった。【活動指標達成状況:0%】</p> <p>具体的な取組として、谷津山配水池の廃止作業を進めていたところ、駿河区の一部(新川、大和)で水圧が不足することが判明し、廃止作業を中止した。</p> <p>(成果指標)維持管理費縮減効果については、令和5年度計画「約2,020万円/年」は前年度までの実績のため変更はない。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>水道施設を統廃合することにより、効果的な運転や維持管理費の軽減が図られる。(電気料金、テレメータ回線使用料)</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

谷津山配水池の廃止作業を実施したが、駿河区の一部で水圧が不足することが判明し、市民生活への影響も考慮し作業を中止したため廃止に至らなかった。

(自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針)

谷津山配水池を廃止するためには、他配水池の配水エリアに変更する必要がある。変更に必要な管路工事の完了後、谷津山配水池を廃止する。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
維持管理費 縮減効果	目標値		約2,020万 円/年	約2,320万 円/年	約2,320万 円/年	約2,320万 円/年
	実績値	約2,020万 円/年	約2,020万 円/年			

R5成果指標算出式	約2,020万円/年(令和4年度実績値) + 0円/年(令和5年度縮減額)
-----------	---------------------------------------

政策2 施策(2)	② 配水ブロックの再編【水道】	計画掲載ページ 〔P43～44〕
--------------	-----------------	---------------------

活動目標 「静岡市水運用計画」に基づき、地形、河川、鉄道、幹線道路、水道施設の配置状況や供給可能量に合わせ、各施設から配水するエリアの再編を行う。
また、配水ブロック化等に併せて必要となる水道管の整備も順次進めていく。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
配水ブロック再編	目標値		5箇所	0箇所	1箇所	2箇所	2箇所	
	実績値	—		1箇所				
	事業費	予算(千円) (現計予算)		—				
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		—				
		決算(千円) ※見込み		—				
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		—						

自己評価	説明
S	配水ブロックの再編について、配水ブロック再編を令和5年度計画「0箇所」に対し「1箇所」実施した。【活動成果指標達成状況：200%】 具体的な取組として、鎌田向敷地減圧ブロック化を実施し、この結果、「配水ブロック再編が完了した割合」は令和5年度計画「0%」に対し実績「7%」となった。【成果指標達成状況：200%】 配水ブロックの再編を進めることにより、効率的な配水や災害時の早期復旧につながる。

(自己評価が「a」以外となった理由等)

R8年度に実施予定であった鎌田向敷地減圧ブロック化の事業計画を見直し、計画よりも前倒しで実施できたことにより、S評価となった。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
配水ブロック再編が完了した割合	目標値		0% (0/14箇所)	7% (1/14箇所)	21% (3/14箇所)	36% (5/14箇所)
	実績値	0% (0箇所)	7% (1/14箇所)			

R5成果指標算出式	$1\text{箇所}/14\text{箇所} \times 100 = 7.1\%$
-----------	---

政策2 施策(2)	③ 水道管・施設の漏水対策 【水道】	計画掲載ページ 【P45～46】
--------------	--------------------	---------------------

活動目標	水道管総延長約2,700kmのうち、送水管・配水本管・配水管の漏水調査を行うとともに水道施設内についても計画的な漏水調査を行い、積極的な漏水対策を実施する。 また、効率的に漏水を発見するため、新しい技術を導入し漏水対策を実施する。
------	--

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
管調査延長	目標値		9,908km	2,477km	2,477km	2,477km	2,477km
	実績値	7,443km		2,477km			
	事業費	予算(千円) (現計予算)		116,908			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		0			
		決算(千円) ※見込み		116,908			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		0					
施設調査数	目標値		12施設	3施設	3施設	3施設	3施設
	実績値	0施設	3施設	3施設			
	事業費	予算(千円) (現計予算)		4,730			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		0			
		決算(千円) ※見込み		4,730			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		0					

自己評価	説明
a	水道管の漏水対策について、管調査延長は令和5年度計画「2,477km」に対して「2,477km」を実施した。【活動成果指標達成率:100%】 具体的な取組として、市内の送・配水管を対象に、監視型漏水調査を397kmと路面音聴調査を2,080km実施し、この結果、管路点検率は令和5年度計画「91.9%」に対し実績「91.9%」となった。【成果指標達成状況:100%】 水道施設の漏水対策について、施設調査数を令和5年度計画「3施設」に対して、「3施設」を実施した。【活動成果指標達成状況100%】 具体的な取り組みとして、庵原配水場、小鹿配水場及び西奈配水場の漏水調査を実施し、この結果、主要施設漏水点検率は令和5年度計画「13.0%」に対し実績「13.0%」となった。【成果指標達成状況:100%】 水道管・水道施設の漏水対策を進めることにより、漏水量の軽減、道路陥没事故等の抑制につながる。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
管路点検率	目標値		91.9%	91.9%	91.9%	91.9%
	実績値	84.7%	91.9%			
主要施設 漏水点検率	目標値		13.0%	26.1%	39.1%	52.2%
	実績値	—	13.0%			
有収率 (参考指標)	実績値	82.3%	81.2%			
R5成果指標算出式	管路点検率 = $2,477\text{km} / 2,695\text{km} = 91.9\%$ 主要施設漏水点検率 = 令和5年度までの点検施設数3施設 / 23施設 = 13.0%					

政策2 施策(2)	④ 下水道施設の統廃合【下水道】	計画掲載ページ [P47~48]
--------------	------------------	---------------------

活動目標 清水南部浄化センターに流入している汚水の一部を静清浄化センターへ切り替える処理区切替工事を実施し、令和8年度までに完了します。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
処理区切替工事	目標値		完了	詳細設計	施工	施工	完了
	実績値	基本設計		詳細設計(実施中)			
	事業費	予算(千円) (現計予算)		83,900			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		0			
		決算(千円) ※見込み		5,199			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		78,700					

自己評価	説明
C	<p>下水道施設の統廃合について、(活動指標)処理区切替工事は令和5年度計画「詳細設計(完了)」に対し「詳細設計(実施中)」となった。【活動指標達成状況:目標を顕著に下回る進捗である】</p> <p>具体的な取組みとして、静清処理区編入切替管渠施設設計(詳細設計)業務委託が令和5年度内に完了せず、令和6年度に繰越しとなった。この結果、(成果指標)処理区切替工事整備による維持管理費縮減効果は、令和5年度計画「0円」に対し実績「0円」である。【成果指標達成状況:目標どおりの進捗である】</p> <p>下水道施設の統廃合を進めることにより、清水南部浄化センターへ送水していた宮加三ポンプ場が不要となることで維持管理費の縮減を図ることができ、持続可能な管・施設の運用につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

下水道管占用位置の検討にあたり道路内に地下埋設物が輻輳していたことから、追加で試掘を行い施工可能位置を確認する必要が生じ、詳細設計が遅れたため。

(自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針)

試掘の結果を基に設計を完了させ、早期に港湾管理者(静岡県)、道路管理者及び沿道事業者との協議を整える。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
処理区切替工事整備による維持管理費縮減効果 (約1,800万円/年)	目標値		0円	0円	0円	0円
	実績値	0円	0円			
R5成果指標算出式	宮加三ポンプ場の廃止に伴う維持管理費縮減額効果額 約1,800万円/年 (※宮加三ポンプ場の維持管理費R3実績をもとに算出) 令和5年度時点では、宮加三ポンプ場が稼働しているため縮減額はない。					

政策2 施策(3)	① 水質の管理・監視【水道】	計画掲載ページ 〔P49～50〕
--------------	----------------	---------------------

活動目標 「静岡市水質検査計画」に基づき、法令で定める回数を上回るきめ細やかな水質検査を実施する。検査の信頼性の確保のため、水道GLPに裏付けされた検査技術を持つ水質検査担当者を育成していく。また、水質の変化や異常に対して迅速に対応するため、水質を24時間連続で監視する水質監視装置を令和8年度までに16台更新する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
水質検査担当者の育成 (認定を取得した人数)	目標値		延べ80人	延べ20人	延べ20人	延べ20人	延べ20人	
	実績値	延べ70人		延べ25人				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					
水質監視装置の更新	目標値		16台	4台	4台	4台	4台	
	実績値	16台		4台				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			21,000			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			20,900			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					
自己評価	説 明							
a	<p>水質の管理・監視について、水質検査担当者の育成を令和5年度計画「延べ20人」に対し、「延べ25人」実施した。【活動指標達成状況：水質検査担当者の育成 125%】また、水質監視装置の更新を令和5年度計画「4台」に対し、「4台」計画通り実施した。【活動指標達成状況：水質監視装置の更新 100%】</p> <p>具体的な取組として、令和5年度水質検査計画に基づく水質検査を実施し、この結果、平均残留塩素濃度は、令和5年度計画目標値 0.3mg/Lに対し、実績値 0.3mg/Lとなった。また、全ての検査箇所において水道水質基準を満たしていることを確認した。【成果指標達成状況：100%】</p> <p>水質の管理・監視を継続することにより、安全でおいしい水を安定的な供給につながる。</p>							

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
平均残留塩素濃度 (0.4mg/L以下を維持)	目標値		0.3mg/L	0.3mg/L	0.3mg/L	0.3mg/L
	実績値	0.3mg/L	0.3mg/L			
水質基準達成率 (水質基準項目)	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	100.0%	100.0%			
R5成果指標算出式		6441.07(mg/L)/19032回=0.33(mg/L)≒0.3(mg/L)				

政策2 施策(3)	② 鉛製給水管の更新【水道】	計画掲載ページ [P51~52]
--------------	----------------	---------------------

活動目標 「静岡市鉛製給水管更新計画」に基づき、平成21年度末時点で64,596箇所あった鉛製給水管を、令和4年度末までに42,114箇所ポリエチレン製等給水管に更新した。これを令和8年度末までに15,200箇所実施し、57,314箇所の更新を完了する。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
鉛製給水管の更新	目標値		15,200箇所	3,800箇所	3,800箇所	3,800箇所	3,800箇所	
	実績値	15,157箇所		3,802箇所				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			183,300			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			183,217			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			0					

自己評価	説明
a	<p>鉛製給水管の更新について、鉛製給水管の更新を令和5年度計画「3,800箇所」に対して「3,802箇所」実施した。【活動成果指標達成状況:100%】</p> <p>具体的な取り組みとして、鉛製給水管更新修繕の業務で1,056箇所、配水管布設替工事で201箇所、漏水修繕で220箇所等を実施し、この結果、鉛製給水管率は令和5年度計画「6.0%」に対し、実績「6.0%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>鉛製給水管の更新を進めることにより水質の不安が払拭された水が供給されるとともに漏水懸念の軽減につながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
鉛製給水管率	目標値		6.0%	4.8%	3.6%	2.4%
	実績値	7.3%	6.0%			

R5成果指標算出式	鉛製給水管率 = R5年度鉛製給水管残存数 / R5年度給水戸数 (%)
-----------	--------------------------------------

政策3 施策(1)	① 下水道計画区域内の整備【下水道】	計画掲載ページ 〔P53～54〕
--------------	--------------------	---------------------

活動目標 「静岡市汚水処理計画」に基づき、令和4年度末までに9,066haの整備が完了しているが、令和8年度末までに新たに80ha整備し、9,146haの整備が完了する。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
下水道整備済面積	目標値		80ha	20ha	20ha	20ha	20ha
	実績値	130ha		20ha			
	事業費	予算(千円) (現計予算)		1,304,785			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)		598,384			
		決算(千円) ※見込み		918,779			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)		769,956					

自己評価	説明
a	<p>下水道計画区域内の整備について、(活動指標)下水道整備済面積を令和5年度計画「20ha」に対し「20ha(20.46ha)」実施した。【活動指標達成状況:100%】</p> <p>具体的な取組として、中島処理区大谷地区、静清処理区长崎地区、飯田地区、興津地区等の整備を実施し、この結果、(成果指標)下水道処理人口普及率は、令和5年度計画「88.2%」に対し実績「88.3%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>下水道計画区域内の整備を進めることにより、下水道が使用可能となる区域が広がり、生活環境の改善・公共用水域の水質保全の向上につながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
下水道処理人口普及率	目標値		88.2%	88.2%	88.3%	88.4%
	実績値	88.1%	88.3%			

R5成果指標算出式	下水道処理人口普及率 (静岡市で公共下水道が使用可能な人口/静岡市の行政人口)×100(%) =(596,772/675,610)×100=88.3%
-----------	---

政策3 施策(1)	② 水洗化戸数の増加【下水道】	計画登載ページ [P55~56]
--------------	-----------------	---------------------

活動目標 公共下水道の未接続世帯に対する臨戸訪問や文書勧告などの下水道接続推進活動により、水洗化戸数の増加を図る。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
臨戸訪問の 実施	目標値		延べ 172,000戸	延べ 40,000戸	延べ 44,000戸	延べ 44,000戸	延べ 44,000戸	
	実績値	延べ 172,058戸		延べ 41,437戸				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			1,111			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			1,006			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			0					

自己評価	説明
a	<p>水洗化戸数の増加について、(活動指標)臨戸訪問の実施を令和5年度計画「延べ40,000戸」に対し、「延べ41,437戸」実施した。【活動指標達成状況:103.6%】</p> <p>具体的な取組として、通常の推進活動に加え、下水道接続推進強化期間における接続依頼、新規供用開始区域を下水道接続推進重点区域に定めた重点的な活動などを実施し、この結果、(成果指標)水洗化率(戸数)は、令和5年度計画「91.4%」に対し実績「91.8%」となった。【成果指標達成状況:100.4%】</p> <p>水洗化戸数の増加を進めることにより、公共用水域の水質保全や公衆衛生の向上につながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
水洗化率 (戸数)	目標値		91.4%	91.9%	92.4%	92.9%
	実績値	91.1%	91.8%			

R5成果指標算出式	$267,454 \text{戸}(\text{R5水洗化戸数}) / 291,344 \text{戸}(\text{R5処理区域内戸数})$
-----------	---

政策4 施策(1)	① 料金等納入のキャッシュレス決済推進 【共通】	計画登載ページ [P57～58]
--------------	--------------------------	---------------------

活動目標 お客様のニーズに応えるとともに効率的に事業を実施するため、水道料金及び下水道使用料の口座振替やスマートフォンアプリによる納入に加え、クレジットカードによる納入を導入し、キャッシュレス決済による納入を推進していく。

(活動指標)

実施内容		R1～4年度計	R5～8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
水道料金及び下水道使用料の決済に係る利便性の向上	目標値		クレジットカード決済の導入、さらなる利便性向上のための調査・検討	クレジットカード決済の導入に向けた準備、さらなる利便性向上のための調査・検討	クレジットカード決済の導入、さらなる利便性向上のための調査・検討	さらなる利便性向上のための調査・検討	さらなる利便性向上のための調査・検討	
	実績値	スマホ決済の導入		・クレジットカード決済に必要なサイト構築業務の実施(R5～6) ・スマホアプリ(楽天ペイ、d払い)の追加導入				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			0			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			0			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)				0				

自己評価	説明
a	<p>料金等納入のキャッシュレス決済推進について、(活動指標)水道料金及び下水道使用料の決済に係る利便性の向上を令和5年度計画「クレジットカード決済の導入に向けた準備、さらなる利便性向上のための調査・検討」に対し「クレジットカード決済に必要なサイト構築業務の実施(R5～6)」、「スマホアプリ(楽天ペイ、d払い)の追加導入」を実施した。【活動指標達成状況:目標どおりの進捗である。】</p> <p>具体的な取組として、令和6年度にクレジットカード決済を導入するため、登録申請に必要なサイト構築業務(R5～6)を発注し、サイト構築とクレジットカード決済の運用準備を開始した。</p> <p>また、スマートフォンアプリによる納入は既にPayPay、auPay、LINEPayなどを導入しているが、楽天ペイが請求書払いを開始し水道料金や下水道使用料の支払いにも対応したことから、収納代行業者や料金システムの管理業者と協議を行い、楽天ペイと同様に導入可能となったd払いと併せて、令和5年10月からスマホアプリによる支払い手段として追加した。</p> <p>この結果、(成果指標)キャッシュレス決済率(収納件数の構成比)は令和5年度計画「75.76%」に対し実績「76.46%」となった。【成果指標達成状況: 100.92 %】</p> <p>料金等納入のキャッシュレス決済を推進することにより、お客様のニーズに応えるとともに効率的に事業を実施する。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
キャッシュレス決済率 (収納件数の構成比)	目標値		75.76%	75.88%	76.08%	76.28%
	実績値	74.01%	76.46%			

R5成果指標算出式	キャッシュレス決済率 $\left(\frac{\text{口座振替件数}1,434,467\text{件} + \text{スマホ決済件数}76,243\text{件} + \text{クレジットカード決済件数}0\text{件}}{\text{総収納件数}1,975,733\text{件}} \right) \times 100 = 76.46\%$
-----------	--

政策5 施策(1)	① 人材育成の推進 【共通】	計画掲載ページ [P59~60]
--------------	----------------	---------------------

活動目標 持続可能な事業運営に必要な技術や知識を確保するため、局内にて実施される研修及び外部機関が実施する専門研修などに参加する。また、将来にわたって必要とされる技術を整理し、継承するための仕組みを検討する。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度 計	R5~8年度 計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
内部研修への 参加 (延べ人数)	目標値		6,000人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	
	実績値	2,800人		2,530人				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			88			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			88			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			0					
外部研修への 参加 (延べ人数)	目標値		540人	135人	135人	135人	135人	
	実績値	270人		102人				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			7,436			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			5,117			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			0					
e-ラーニング 研修受講	目標値		8回	2回	2回	2回	2回	
	実績値	8回		2回				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			0			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			0			
		決算(千円) ※見込み			0			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			0					

自己評価	説明
b	<p>「職員の技術習得」について、「内部研修への参加(延べ人数)」を令和5年度計画1,500人に対し、2,530人参加した。【活動指標達成状況:168.7%】具体的な取組として、各課にて事業運営に必要な研修を自主的に実施し、この結果、(成果指標)内部研修時間は19.6時間/人となった。【成果指標達成状況:194.1%】</p> <p>「外部研修への参加(延べ人数)」を令和5年度計画135人に対し、102人参加した。【活動指標達成状況:75.6%】具体的な取組として、新たに上下水道事業に従事することとなった職員が外部研修へ参加したこと等により、(成果指標)外部研修時間は4.0時間/人となった。【成果指標達成状況:47.1%】</p> <p>「e-ラーニング研修受講」を令和5年度計画2回に対し、2回実施した。【活動指標達成状況:100%】具体的な取組として、水道事業及び下水道事業に関するEsナビを実施し、積極的な受講を促した結果、「e-ラーニング研修受講率」は100%となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>「職員の技術習得」を進めることにより、持続可能な事業運営につながる。</p>

(自己評価が「a」以外となった理由等)

活動指標「内部研修への参加(延べ人数)」及び「e-ラーニング研修受講」は目標を達成したが、「外部研修への参加(延べ人数)」達成率が75.6%となったため。

(自己評価が「a」未満の場合、改善に向けた取組方針)

水道事業及び下水道事業に係る外部研修の主なものとして、日本水道協会、日本下水道事業団等が主催するものがあるが、これまでよりも幅広く研修実施機関、研修カリキュラム、比較的参加しやすいオンライン研修の情報を収集し、局内に積極的に発信することで、職員の外部研修参加を促していく。また、外部研修参加に係る予算を各課に配当し、各課の裁量でより柔軟に受講者やカリキュラムを決定できるよう事務手続の見直しを図る。

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
内部研修 時間	目標値		10.1時間/人	10.2時間/人	10.3時間/人	10.4時間/人
	実績値	8.8時間/人	19.6時間/人			
外部研修 時間	目標値		8.5時間/人	8.5時間/人	8.5時間/人	8.5時間/人
	実績値	7.2時間/人	4.0時間/人			
e-ラーニング 研修受講率	目標値		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	実績値	100.0%	100.0%			
R5成果指標算出式		内部研修時間:6,615時間/338人=19.6時間/人 外部研修時間:1,363時間/338人=4.0時間/人				

政策5 施策(2)	① 企業債残高の適正な管理 【共通】	計画掲載ページ [P61~62]
活動目標	将来の支払利息が過大とならないよう、企業債※残高を適正に管理する。	

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
水道事業	企業債借入額	目標値	167億円	55億円	36億円	39億円	37億円
		実績値	85億円	34億円			
			事業の繰越に伴う翌年度借入(予定)	20億円			
	元金償還金	目標値	92億円	23億円	23億円	23億円	23億円
実績値		94億円	23億円				
下水道事業	企業債借入額	目標値	366億円	129億円	81億円	76億円	73億円
		実績値	343億円	69億円			
			事業の繰越に伴う翌年度借入(予定)	36億円			
	元金償還金	目標値	376億円	105億円	93億円	89億円	89億円
実績値		422億円	105億円				

自己評価	説明
a	<p>【水道事業】企業債残高の適正な管理について、(活動指標)企業債借入額を令和5年度計画「55億円」に対し、「34億円」の実施及び「20億円」の繰越となった。【活動指標達成状況:101.9%】また、(活動指標)元金償還金を令和5年度計画「23億円」に対し、「23億円」実施した。【活動指標達成状況:100.0%】</p> <p>具体的な取組として、企業債の借入と償還を計画的に行い、この結果、(成果指標)「年度末における企業債残高」は、令和5年度計画「469億円」に対し実績が「447億円」、繰越が「20億円」となった。【成果指標達成状況:100.4%】</p> <p>【下水道事業】企業債残高の適正な管理について、(活動指標)企業債借入額を令和5年度計画「129億円」に対し、「69億円」の実施及び「36億円」の繰越となった。【活動指標達成状況:122.9%】また、(活動指標)元金償還金を令和5年度計画「105億円」に対し、「105億円」実施した。【活動指標達成状況:100.0%】</p> <p>具体的な取組として、企業債の借入と償還を計画的に行い、この結果、(成果指標)「年度末における企業債残高」は、令和5年度計画「1,412億円」に対し実績が「1,353億円」、繰越が「36億円」となった。【成果指標達成状況:101.7%】</p> <p>企業債残高を適正に管理することにより、将来の支払利息を抑制し、事業を安定的に継続することにつながる。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(水道事業) 年度末における 企業債残高	目標値		469億円	482億円 480億円	498億円 496億円	511億円 510億円
	実績値	437億円	447億円 <small>(20億円はR6へ繰越)</small>			
(下水道事業) 年度末における 企業債残高	目標値		1,412億円	1,400億円 1,377億円	1,387億円 1,364億円	1,371億円 1,348億円
	実績値	1,388億円	1,353億円 <small>(36億円はR6へ繰越)</small>			

(成果指標の修正理由)

令和6年度以降の成果指標計画値は、令和5年度の成果指標実績値を基に、令和6年度以降の活動指標計画値を反映させたものになっている。

今回、令和5年度の成果指標実績値が確定したことに伴い、令和6年度以降の成果指標計画値を修正した。

政策5 施策(2)	② 収納率の向上 【共通】	計画登載ページ [P63~64]
--------------	---------------	---------------------

活動目標 口座振替勧奨による納期内納付の推進と、早期催告、給水停止、法的措置等を強化し、効率的な滞納整理を実施していくことで収納率の向上に努める。

(活動指標)

実施内容		R1~4年度計	R5~8年度計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
水道料金・下水道使用料の口座振替勧奨	目標値		30,800件	7,700件	7,700件	7,700件	7,700件	
	実績値	30,800件		7,887件				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					
水道料金・下水道使用料の使用者に対する強制徴収	目標値		実施	実施	実施	実施	実施	
	実績値	実施		実施				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					
受益者負担金一括納付の勧奨	目標値		12回	3回	3回	3回	3回	
	実績値	12回		3回				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					
受益者負担金の受益者に対する強制徴収	目標値		実施	実施	実施	実施	実施	
	実績値	実施		実施				
	事業費	予算(千円) (現計予算)			—			
		繰越(千円) (過年度→当該年度)			—			
		決算(千円) ※見込み			—			
繰越(千円) ※見込み (当該年度→翌年度)			—					

自己評価	説明
a	<p>水道料金・下水道使用料の口座振替勧奨について、(活動指標)実施件数を令和5年度計画「7,700件」に対し、「7,887件」実施した。【活動指標達成状況:102.43%】</p> <p>水道料金・下水道使用料の使用者に対する強制徴収を計画どおり実施した。</p> <p>受益者負担金一括納付の勧奨について、(活動指標)実施回数を令和5年度計画「3回」に対し、「3回」実施した。【活動指標達成状況:100%】</p> <p>受益者負担金の受益者に対する強制徴収を計画どおり実施した。</p> <p>具体的な取組として、水道料金は、支払督促や強制執行を行い、下水道使用料、受益者負担金は差押えを実施し、この結果、(成果指標)水道料金収納率は、令和5年度計画「98.25%」に対し実績「98.33%」、下水道使用料収納率は、計画「98.21%」に対し実績「98.24%」、受益者負担金収納率(現年)は、計画「94.74%」に対し実績「98.13%」、同収納率(過年)は、計画「14.63%」に対し実績「15.01%」となった。【成果指標達成状況:100%】</p> <p>収納率の向上することにより、財政の健全化を図り、安定した事業経営が持続される。</p>

《参考》

(成果指標)

指標名		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
水道料金 収納率	目標値		98.25%	98.50%	98.51%	98.54%
	実績値	98.07%	98.33%			
下水道使用料 収納率	目標値		98.21%	98.49%	98.52%	98.55%
	実績値	98.05%	98.24%			
受益者負担金 収納率 上段:現年/ 下段:過年	目標値		94.74%	94.79%	94.84%	94.89%
	実績値	98.42%	98.13%			
	目標値		14.63%	14.68%	14.73%	14.78%
	実績値	15.69%	15.01%			

R5成果指標算出式	<p>水道料金収納率(現年度:5月末、過年度3月末の合計) (実収納金額)10,852,389,488円/(実調定額)11,036,978,148円×100% =98.33%</p> <p>下水道使用料収納率(現年度:5月末、過年度3月末の合計) (実収納金額)10,359,935,045円/(実調定額)10,546,028,623円×100% =98.24%</p> <p>下水道事業受益者負担金収納率(現年度:5月末、過年度3月末) 現年(実収納金額)40,915,810円/(実調定額)41,696,710円×100%=98.13% 過年(実収納金額)1,546,370円/(実調定額)10,301,040円×100%=15.01%</p>
-----------	--